にこにこ新聞　平成24年 9･10月号　第56号

日々楽々

浅間設備工業㈱：発行

人の一寸我が一尺

吉田松陰は多くの優秀な弟子を育てたことで知られる「人育て」の達人です。その松陰が人育ての極意としていたのは、他人の欠点を指摘せず、長所を伸ばす」でした。

まさにその通りだと思いますが、実際には人の長所より欠点に目が行くほうが多いように思います。人の良いところを見つけてほめるより、欠点を指摘するほうがずっと簡単なのは、「人の一寸我が一尺」だからのようです。

他人の欠点はほんのわずかでも目につくけれど、自分の欠点は大きなものでも気がつきにくいもの。これを「人の一寸我が一尺」といいます。

世の中には、他人の欠点を指摘することにものすごい意欲を発揮する人がいます。自分のことは棚に上げ、人の欠点を目ざとく見つけては指摘する人は、親切に教えてあげているんだから感謝しなさいよ」と思っているかもしれませんが、実はその態度が最大の欠点かもしれないことに本人は気づきません。

人の感覚は十人十色。良い」も悪い」も本人次第です。自分にとっては欠点に見えても、本人はそんな自分が気に入っているかもしれません。もし、『これはどうしてもあげたほうがいい』と思うなら、相手を否定することなく伝える技術が必要です。

しかしこれは簡単なようで、実は高度なテクニック。裏を返せば、相手の欠点を上手に伝えられる人は信頼され、一目置かれるでしょう。つまり、他人の欠点を指摘するのは簡単でも、それを上手に伝えるのはとても難しいのです。

相手の気になる欠点が、裏を返せば自分の欠点だったという場合も少なくありません。自分が気にしているからこそ、相手が同じことをしたら気になって仕方ないのです。相手の欠点を指摘するのは自分へのダメ出しと同じだと思えば、人の振り見て我が振り直せです。

お互いの欠けている部分を否定しあっていたら人間関係はあっという間に崩れ去ります。相手の欠点が気になって仕方ないときは、「人の一寸我が一尺」の言葉を思いだし、片目をつぶって見逃しましょう。見逃すとは余計な口出しをしないと言うことです。

あなたの欠点を見逃してくれているはずです。世の中は持ちつ持たれつ。できるだけ相手の良いところを見てお付き合いしていきたいものです。それは相手のためというより、自分の器を大きくするチャンスです。

九月の第三月曜日は「敬老の日」

以前は毎年９月15日だった「敬老の日」は、ハッピーマンデー制度によって２００３年（平成15年）から９月第３月曜日になりました。そのルーツは１９４７年（昭和22年）に作られた「としよりの日」にあります。

その年、兵庫県のある村の村長と助役が、老人を大切にして、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」と、９月15日からの１週間を老人福祉週間と定めて「としよりの日」と命名しました。９月15日にしたのは、ちょうど農閑期に当たって気候も良かったからだそうです。

１９５０年（昭和25年）からは兵庫県全体に「としよりの日」が広まり、さらに全国的になっていきました。

ところが、「としより」というネーミングはいくらなんでもひどいのでは、という意見が各界から起こります。そこで、１９６４年（昭和39年）に「老人の日」と改称されましたが、「老人」という言葉も評判がよろしくなかったようです。最終的には「敬老の日」に落ち着き、めでたく国民の祝日となったわけです。

この日、何の日？

お客様感謝祭　開催！！

今月末の29(土)、30(日)両日TOTOリモデル東信店会主催『お客様感謝祭』を開催します。お得意様サイコロ抽選会や奥様にお勧めのハンドマッサーズや料理教室、お子様には「ペタペタ焼き」。お祭りでよく見かける移動販売の「ドネルケバブ」も来ます。(これは有料です)

その中でもお勧めは、「NIPPN(日本製粉)スペイン料理教室 」29日のみ約２時間ですが、参加者全員に「NIPPN製品５品」のおみやげ付き(要予約)私も予約するつもりです(＾－＾)

感謝祭なのでお気軽にお越しください。お待ちしております。

平成２４年 ビンゴ第５回

5回目のビンゴ発表！

訪問先で「リーチにはなっているけど～」とよく言われますが、これば かりは・・・。

61･14･17･62･3･40･?

注意！

当選の方はご連絡の上、ご来店ください

景品の発送、配達等は致しておりません

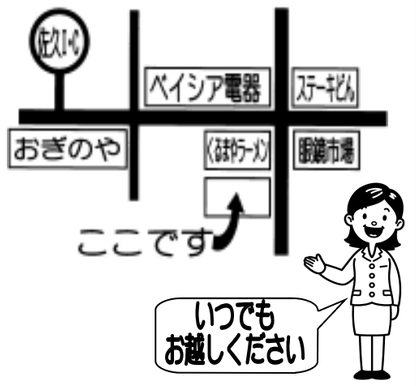
リフォームもできる身近な水道屋さん

浅間設備工業株式会社

☎０２６７－６７－４１３０

FAX　０２６７－６８－５８３１

E-mail　info@asamasetubi.co.jp

http://www.asamasetubi.co.jp

住 所　佐久市岩村田住吉町159-3